



公明党

嶋田 弘二

交通安全施設について

12



問カーブミラーについて、老朽化した場合の撤去や更新など、維持管理を適切に行っていくべきと考えるが、市の考えを伺う。

答市民部長 カーブミラーを適切に維持・管理していくことは、市民が安心して道路を利用するために重要であると認識している。

委託による清掃、点検を引き続き実施するとともに、職員が市内を巡回する機会を捉え、修繕が必要なカーブミラーの把握に努める。また、地域住民にも、見づらくなったり破損したりしたカーブミラーを見かけたときは、市に連絡してもらうよう協力を求めている。

交通安全施設



公明党

鈴木 謙一郎

高齢者の安全安心な暮らし

14



問年金のみで生活する単身高齢者も多いと感じるが、生活に困った際の相談はどうすればよいか伺う。

答福祉部長 川越駅西口にある福祉総合相談窓口内の川越市自立相談支援センターでは、就労や住まい、心身の問題など生活や福祉に関するさまざまな相談に対応し、必要に応じて関係機関と連携して支援につなげている。自ら相談に来るのが難しい人には、訪問や支援の同行などアウトリーチによる支援も行っている。



高齢者への支援



公明党

田畑 たき子

視覚障がい者支援について

16



問7倍までズームすることができる網膜投影視覚支援機器を市立の美術館や博物館、川越まつり会館で導入する考えはあるのか伺う。

答福祉部長 障害者が個人で購入する場合に、高額な自己負担が生じる網膜投影視覚支援機器のような支援機器を使用することが見込まれる施設において、支援機器を導入し、来館者へ貸し出しを行うことは、施設の利便性を高めるものと認識している。今後、障害者団体等からの要望や費用面、効果等を総合的に勘案し、施設への導入について関係部署と検討していきたいと考えている。

視覚障がい者支援



公明党

須藤 直樹

マルチスポーツの推進を

13



問民間企業や大学、スポーツ団体などと連携してマルチスポーツの考え方をういた取り組みを推進していくことについて、市はどのように考えているか伺う。

答文化スポーツ部長 民間企業や大学、プロスポーツチームが持つ資源を活用し、多様なスポーツに取り組む機会を創出することは、こどもたちの成長に寄与するものである。こどもたち一人一人の興味に応じた多様な運動の機会を提供することは、将来にわたる健康、スポーツ習慣の定着につながるため、複数のスポーツを同時期に行うマルチスポーツを推進していくことは、有意義なものと考えている。

こどもの体力づくり



公明党

桐野 忠

若い世代への平和の伝承

15



問戦争を体験した人や伝える人が少なくなる中、若い世代・学校での戦争の悲惨さや平和の尊さを伝承していく取り組みについて伺いたい。

答教育長 現在、市内の市立小中学校では、川越市立博物館と連携し、戦争に関する資料の閲覧や学校での出前授業の実践、テレジン語り継ぐ会in川越による出前授業を行っている。今後は、一般財団法人埼玉県遺族連合会による平和の語り部事業を活用し、戦争体験者の遺族による戦争の体験談等から、児童生徒が平和の尊さについて考えられるよう、関係諸機関との調整を進めていく。

多文化共生

平和施策の充実



公明党

小ノ澤 哲也

契約の方法を変更すべき！

17



問フリーランス法が施行され、発注者である市と会員が直接契約を結び、シルバー人材センターはその間に入りサポートする契約に変えるべきと思うが、市の考えは？

答総務部長 フリーランス法が施行されたことを踏まえ、会員が安心して就業できる環境を確保するためにも、契約形態の変更は必要であると考えている。しかしながら、本市の契約規則や他の民間事業者との業務委託の公平性など調整が必要であり、現在その解決に向けてシルバー人材センターと協議を重ねている。令和8年度以降の契約から円滑に移行できるよう取り組んでいきたい。

子宮頸がんワクチン

市の発注する業務委託